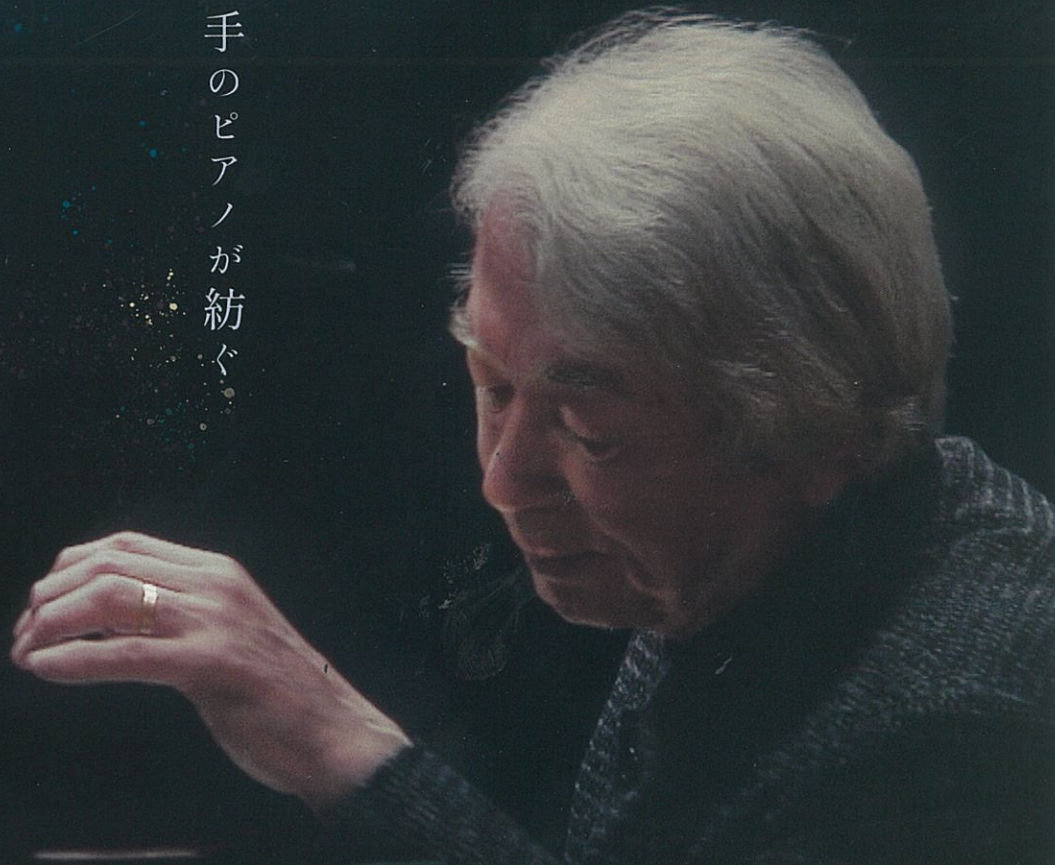


左手のピアノが紡ぐ

「愛と生と死」の世界



米寿
記念演奏会

舘野 泉

ピアノ・リサイタル

PROGRAM

シサスク：エイヴェレの惑星

谷川賢作：組曲「そして船はいく」

記憶の生垣に沿って

さよならは仮のことば

のんのんずいずい

そのあと After That (to Maria)

島の女

ノルドグレン：振袖火事

(小泉八雲の「怪談」によるバラードIIより)

ピアソラ：3つの作品 (左手用編曲/啼鵬)

アディオス・ノニーノ

天使のミロンガ

天使の死

…その他

※プログラムは変更になる場合がございます。

2024.5.18 土 18:15 開場 19:00 開演

ハーモニーホールふくい 小ホール (福井市今市町40-1-1)

■福井鉄道福武線ハーモニーホール駅 徒歩3分

■JR福井駅、またはハビラインふくい(旧JR北陸線)鯖江駅から、タクシー約15分

全席自由 一般 ¥3,500 / 高校生以下 ¥1,500 (当日券各¥500 増)

※問い合わせ先は裏面に記載

販売場所 鯖江市役所売店、アルプラザ鯖江、ハーモニーホールチケットセンター、ベルプレイガイド、アルプラザ武生、だいこん舎

※未就学児入場不可。 ※車椅子席をご希望の方は事前に主催側へご連絡ください。 ※前売りで予定数を販売した場合は、当日券販売はありません。

〈主催〉



一般社団法人

さばえ文化振興事業団

〈後援〉

フィンランド大使館、福井県、福井県教育委員会、福井市、福井市教育委員会、鯖江市
鯖江市教育委員会、(公財)福井県文化振興事業団、福井新聞社、FBC、福井テレビ、FM福井

M E S S A G E

本年11月で88歳になる。左手だけで演奏するようになってから20年。北米、南米、欧州全域、ロシア、オーストラリア、中東、モンゴル、アジアの全域で演奏してきた。今年もフランス、フィンランドの他にネパールでのコンサートが予定されている。我ながらよくやってきたと思う。

今回のプログラムでは星や鳥、そして風や水などの大きな自然界を歌いあげたシサスク、間宮芳生、梶谷修の作品の他、小泉八雲の怪談による「振袖火事」が興味を惹くだろう。ジャズ・ピアニスト谷川賢作の「そして船はいく」は昨年10月に誕生したばかり。90歳を超えた父君谷川俊太郎の詩に触発された全5曲には「生きるとは、人生とは」という問いが投影されている。

第4曲「そのあとAfter That」は昨年3月に永眠した私の妻マリアに捧げられた。最後に演奏するピアソラ作品の第1曲「アディオス・ノニーノ」も父に捧げられた曲。そして「天使の死」へと続く。ピアノ音楽で巡る「愛と死」の世界である。

館野 泉

P R O F I L E

館野 泉 (たてのいずみ)

クラシック界のレジェンド、87歳ピアニスト。東京生まれ。1960年東京藝術大学を首席卒業。1964年よりヘルシンキ在住。1981年以降、フィンランド政府の終身芸術家給与を受けて演奏生活に専念する。領域に捉われず、分野にこだわらず、常に新鮮な視点で演奏芸術の可能性を広げ、不動の地位を築いた。これまで北米、南米、オーストラリア、ロシア、ドイツ、フランス、北欧諸国を含むヨーロッパ全域、中国、韓国、フィリピン、インドネシアなどアジア全域、中東でも演奏会を行う。これまでにリリースされたLP/CDは130枚におよぶ。ピュアで透明な旋律を紡ぎ出す、この孤高の鍵盤詩人は、2002年に脳溢血で倒れ右半身不随となるも、しなやかにその運命を受けとめ、「左手のピアニスト」として活動を再開。尽きることのない情熱を、一層音楽の探求に傾け、独自のジャンルを切り開いた。「館野泉の左手」のために捧げられた作品は、10ヶ国の作曲家により、100曲をこえる。2012年以降は海外公演も再開し、パリやウィーン、ベルリンにおいても委嘱作品を含むプログラムでリサイタルを行い、満場の喝采で讃えられた。2020年、演奏生活60周年を迎えて開催の記念リサイタルの全国ツアーは各地にて大反響をよんだ。

2023年には米寿記念演奏会を、東京、大阪、札幌、福岡ほか全国各地で行っている。もはや「左手」のことわりなど必要ない、身体を超える境地に至った「真の巨匠」の風格は、揺るぎない信念とひたむきな姿がもたらす、最大の魅力である。新刊「館野泉フォトストーリー」(求龍堂刊)。

オフィシャル・ホームページ <https://www.izumi-tateno.com/>

